こまがた児童クラブ史（2014年度父母会運営委員会会長：記）

こまがた児童クラブは、**1985年に、父母運営による小さな民家の施設『駒形学童保育所』として開所**しました。
その後、より良い環境で子どもたちを育てたいという思いから、**平成19年（2007年）に**、当時の父母運営委員をはじめ、地域自治会、民生委員、学校関係者など多くの方々の尽力により、前橋市で初めてとなる「学校敷地内の公設民営の学童保育」として生まれ変わりました。当時は、会計や各種手続き、職員の募集・雇用、入所管理や行事運営、行政とのやり取りや苦情対応まで、**施設運営に関わるほぼすべてを保護者が担いながら**、学校や地域の協力のもと運営されてきました。

そして**2015年4月**、運営を**社会福祉法人 若駒会**へ移管し、現在の公設民営体制となりました。学童保育の運営は、市の委託金や補助金があるとはいえ、保護者の皆さまからの利用料に支えられた、決して余裕のあるものではありません。
運営を担ってくださっている法人と、忙しい保護者に代わり、手作りのおやつなどで子どもたちを温かく迎えてくれる支援員の皆さんに感謝しながら、**すべての子どもたちに、たくさんの貴重な経験を届けていくために、保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。**

）

こまがた児童クラブ４０年の歩み

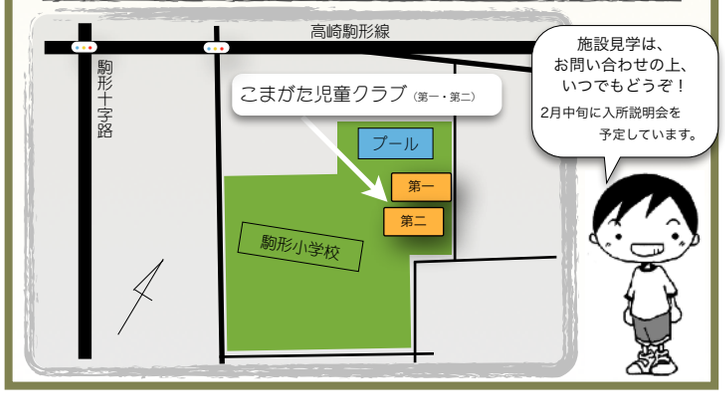
【父母の手づくり学童】
- 1984年　駒形小学校地区に「学童保育を作る会」を立ち上げ
- 1985年　駒形学童保育所 発足（児童3名）
  父母運営による民設民営として開所
  物置を改装した建物でスタート（トイレは別棟）

【児童数の増加と環境改善】
- 1992年　賃貸住宅（築30年の平屋）へ移転／児童数 約30名
- 1993年　トイレを汲み取り式から水洗式へ改修
- 1997年　児童数 約40名
- 2000年　児童数 約60名
- 2002年　児童数 約70名　室内拡張（12畳→18畳）

【学校敷地内へ】
- 2006年　駒形学童保育促進委員会 発足（父母会・自治会・学校関係者等で構成）
- 2007年　23年間続いた民設民営の運営に区切り
  地域・学校・保護者の協力により前橋市初の「学校敷地内 公設民営」へ移行
  11月「さよなら駒形学童保育所・大同窓会」開催（OBOG200名以上参加）
  こまがた児童クラブ発足／12月 開所式

【現在の体制／法人運営へ】
- 2014年　臨時総会にて、2015年4月からの運営移管を決定
- 2015年　社会福祉法人 若駒会による運営開始
  約30年続いた父母会運営体制に区切り

【第二児童クラブ開設】
- 2018年　児童数80名超となり定員課題が発生
  行政・自治会・学校・理事会の協議により第二児童クラブ建設を決定
- 2019年　児童数95名
- 2020年　こまがた第二児童クラブ完成・運営開始（第一52名／第二55名 計107名）
- 2021年　第一・第二 合計120名
- 2024年　第一・第二 合計146名



入所手引きから一部抜粋　※参考資料

入所申込方法・申込期間

就学時健診終了～約２週間（詳細は、就学時健診にて『入所案内のお知らせ』を配布いたします）

提出書類：入所願書・児童調査票・就労証明書兼自営申告書・入所選考票（４部）
※上記の書類は、就学時検診終了後、直接児童クラブでお渡しますので取りに来てください。
定員を大幅に越えた場合は入所選考を行いますのでご了承下さい。
入所が内定したご家庭には、１２月中に入所説明会の日程を示した通知を送付します。（毎年２月第３金曜日予定）

保育対象

駒形小学校に在籍する１～６年生までの放課後留守家庭となる児童
※支援学級に通学する児童も対応いたします。
　詳細につきましたは、お問合わせ先までご相談ください。

定員（4支援単位）

- **こまがた第一児童クラブ／２支援（A単位・B単位）**
- **こまがた第二児童クラブ／２支援（A単位・B単位）**

※第一児童クラブの支援単位：おおむね定員３０名（合計６０名定員）
※第二児童クラブの１支援単位：おおむね定員３５名（合計７０名定員）
※定員を大幅に超えた場合は、全家庭を対象に理事会にて選考致します。

保育方針（指針）

・遊びや物作りなどを通して、子どもたちの個性や創造性を育てる
・異年齢集団の活動を通して、思いやる心や、社会生活上のきまりを守る態度などを育てる
・危険予知能力や危険回避能力を高めると共に、あらかじめ危険が予知できる場合には必要な措置を取る

保育目標

①児童クラブの生活を通じて、自分で考えられる力を育てる保育
児童クラブでの遊びや、工作や、学習時間など、さまざまな場面で児童クラブでの生活を通じ、成功や失敗を繰り返しながら体験したことが、生きる力になるような保育を目指す

②集団生活の中で、人を思いやる心が育つ保育
コミュニケーション能力を高め、相手の気持ちを理解し、お互いを尊重する心を育てる保育

利用料　※2025年度現在

①入所金１万円

②保育料

学　年	（月額負担金）
全学年	10,500円

- **上記におやつ代：3,500円が加わります。**
- **上記に保護者会費として1家庭300円が加わります。**
  ※教材・光熱費を含む

利用料の納入
- **毎月１５日（休日にあたる場合は翌銀行開業日）に自動引き落としになります。**

③その他
平日の延長保育料：１８時～３０分毎に100円
土曜日延長保育料：１７時～３０分毎に100円
※１児童１ヶ月の上限3,000円
※上限とは別に、１９時以降として１０分毎に100円
※当クラブの閉所はあくまで１９時です。
・学校長期休業時の早朝保育利用：（事前申込制）
　７時３０分～８時　100円
・土曜保育利用料：（事前申込制）1回　1,000円

④減免措置
・1家庭から複数児童の在籍：各児童　毎月1,000円の減額
・1人親家庭：1家庭　毎月2,000円の減額
※月途中での退所による減免はありません

開所時間

①通常授業日（月曜日～金曜日）・・・・放課後～１８時（延長最大１９時まで）
②学校長期休業日（月曜日～金曜日）・・８時～１８時
※早朝保育７時３０分～・・・・・・・８時
③土曜日・・・・・・・・・・・・・・・８時～１７時（延長最大１８時まで）
※前月の最終水曜日までに、翌月１ヶ月分の利用申し込みを厳守して下さい。

※学級閉鎖時の該当クラスの児童はお受けできません。
※自然災害などで開始時間が遅延になった際の受け入れは、その時の状況により異なります。
※自然災害・流行性疾患により、学校が臨時休校になった場合は、臨時閉所となります。

休所日

・日曜日・祝日・ お盆休みと年末年始（年間予定表による）



※詳細は、入所説明会にてご説明いたします。

こどもが生き生きと育つ場所　自由な発想が育つ場所









社会福祉法人若駒会

こまがた児童クラブ

第一・第二

２０２６年度版

入所案内

名　称：社会福祉法人若駒会　こまがた児童クラブ
所在地：〒379-2122　群馬県前橋市駒形町1191-1（駒形小学校内）
電　話：027-266-6866　FAX：027-266-6866
Email ：komagatajidouclub2012@rainbow.plala.or.jp

・こまがた児童クラブホームページ　→　こまがた児童クラブで検索
・Facebookもやってます！ぜひご覧ください

こまがた児童クラブでの生活

３：００頃
ただいま～！

こども達は、学校が終わると児童クラブに帰ってきます。「ただいま～！」「おかえり！」児童クラブは行くのではなく、帰って来るところ。もう一つの家庭といえるでしょう。



宿題、勉強、あそぶ！

児童クラブに帰ってくると、こども達はそれぞれ自分で考えて過ごします。元気に遊ぶ子、本を読む子、お絵かき、宿題する子、様々です。

４：００頃
おやつ・そうじ（班活動）

４時になると、おやつの時間です。この頃になると高学年も帰って来ます。みんなで一緒におやつを食べた後は、お掃除の時間。みんなが使う児童クラブはみんなで掃除！（生活班に分かれて担当します）





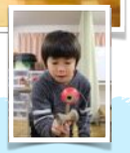
４：３０頃
みんなで遊ぼう！（異年齢集団の生活）

掃除が終わると、校庭に出ての集団遊びや、室内で遊ぶ子、宿題や勉強をする子、様々ですが、おやつ前と少し違うところは、１年生から６年生まで一緒に遊ぶところ、児童クラブならではの異年齢集団の遊びが始まります。

５：３０頃から
さようなら～（お迎えの時間）

５時半ごろになると、そろそろお迎えの時間です。こども達は、まだまだ遊び足りなさそうですが、明日また元気に遊ぼう！ばいばい～！



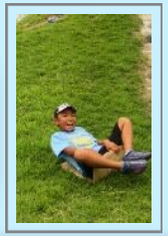


※５時５０分ごろから室内保育のみになります。
※春・夏・冬休み保育期間は１日保育スケジュールになります。
詳細は、お便りにてご報告いたします。

あそびの中で学ぼう！

異年齢集団のたのしさ

地域の中で、こども達が外で遊ぶ姿が見られなくなっています。こども達は友達とのかかわりの中で成長していきます。高学年は、お兄ちゃん、お姉ちゃんの役割を持ち、低学年はお兄ちゃん、お姉ちゃんから遊び方や技術を教わりながら、自分達が高学年になった時の役割も同時に学びます。
そして一つ一つ成長の階段を上がっていくのです。





こどもは遊びが仕事

児童クラブにはテレビゲームはありません。屋内、屋外でみんなで遊びます。集団遊びの大切さをいろいろな遊びの中で楽しみながら、こども社会のルールを学んでいくのです。遊びが仕事といっても楽しい事ばかりではありません。時には、我慢しなければいけなかったり、辛いことがあるかもしれませんが、一つ一つの壁を乗り越えていく力も集団（遊び）生活の中で学んでいくのです。

おやつもそうじもみんなご一緒に

児童クラブでは、職員の手作りおやつを、みんなで食べます。おやつは成長期で活動量の多いこども達の楽しみでもあり、夕食までの大切な栄養源です。
おやつを食べ終えたら掃除の時間。掃除もみんなで一緒に始めます。集団生活の中でみんなで決まった生活習慣を行うことで、社会性などのルールも学んでいきます。



主な年間行事の流れ



４月春の歓迎イベント・５月新入生歓迎親子BBQ

新一年生は遊びながら、児童クラブに慣れてもらいます。行事も、歓迎イベントを行い、家族共々児童クラブの仲間として楽しく過ごして行くことを目的としています。会場は、その年の実行委員会で決定

６月　３年生おとまり保育

3年生だけで1泊2日のお泊保育を行います。
支援員もこどもたちも一晩共に生活し交流を深めます。
会場は、群馬県青少年会館で実施予定

4月その他のイベント
・新入生歓迎おやつパーティー
・『コマガタシアター』DVD鑑賞会（会場：施設内）

８月　親子キャンプ

親子キャンプ（1泊2日）では、家族単位で参加できます。高学年を中心に2日間の生活プランを考え、川遊びや、キャンプファイヤーを盛り上げたり、薪で火を起こし、ごはん作りを担当します。実行委員を中心に大人もこどもも自然とふれあいながら、キャンプで体験したことは夏の思い出になること間違い無し！



7月～8月その他のイベント
・高学年おかず作り
・映画鑑賞
・避難訓練

９月

夏休み保育が終わり、2学期が始まるころには、すっかり児童クラブにも慣れ、1年生もたくましく成長します。

１０月　こどもまつり



夏休み保育の取り組みで作成したさまざまな作品をこどもまつりのお店で販売します。他にも、射的やコリント（※ゲームコーナー）や、焼きそばやフランクフルトなど食べ物屋さんも出店します。地域に密着した、楽しいお祭りです。
会場は、施設内と百年の森（施設前の庭）

10月～1月その他のイベント
・10月／県民の日『イベント』
・12月／高学年主催のお楽しみ会



１月

新しい年を迎え、こどもたちの異年齢集団にもまとまりが出来てくるころです。寒さに負けず元気いっぱいに遊びます。



２月　卒業旅行

6年生が、みんなで話し合い1泊2日の旅行を企画します。6年間の集大成として、準備を数ヶ月前から行います。決められた予算でどんな旅行ができるかな?

３月　６年生をおいだす会

寂しいけれど、新たな旅立ちをみんなで見送ってあげよう!
同時に、年間保育報告会も行います。



※日程と会場等は、年間予定表に記載されます。4月上旬に配布予定。

あってよかった、こまがた児童クラブ

お父さん、お母さんの声コーナー
在籍児童、卒業生OBOGからの声もあるよ～！

おとうさん（４年生女子）　在籍５年目

１年生から日常的に年齢、立場の違う子ども達の中で生活していることで私生活の中で年下の子、年上の子、大人等々と接する際に本人の中である程度のルールのようなものがあるらしく別の集団に入っても自身の立ち位置を把握して行動しているみたいで、びっくりしたことを覚えています。キャンプに参加した際などは毎回思いますが、我々両親だけでは絶対に経験させてあげることの出来ない環境、体験から学ぶことは非常に貴重でありがたいことだと再認識します。　やはりそれらの経験が私生活の行動で生かされたことを認識したときには児童クラブへ預けてよかったなと改めて感謝します。

おかあさん（４年生女子）　在籍５年目

BBQ、親子キャンプにこどもまつりetc・・・家族だけではなかなか経験させてあげられない楽しい行事がたくさん。親も一緒に参加して、子どもの時間を楽しむことができます。親が行事に参加することで、子どもたちの笑顔や頑張る姿など普段は見られない表情を見ることができます。また。支援員さんたちの奮闘ぶりも身近で見られ、感謝の気持ちが倍増します。

Rくん（３年生男子児童）



がくどうでは、本やおもちゃがいっぱいあるよ
がくどうでは、えいがかんにいくよ
がくどうでは、キャンプにいくよ

おかあさん（5年男子・３年女子）　在籍５年目

☆技が身につきます！
けん玉、コマ、フラパン、手芸などなど、器用になって子どもたちも自信がついてありがたいです。
☆おかず作りの日もあって夏休みは大助かりです。
だって、こはんだけ持っていけばいいんですもの♡
あと、お弁当の注文日もあってありがたいです。
☆６年生まであずけられるとこもありがたいです。
でも、なんといっても支援員さんの温かく技を持った人たちなので、子どもが楽しんで行ってくれる、これに尽きます。勉強もバッチリです。

Yさん（６年生女子児童）

たくさんの遊びを知ることができた。友達が増えた！
学童入んなきゃ絶対にやってなかったと思うけど、今ちょーハマッてる！けん玉。

Sくん（OB／中二男子）

こまがた児童クラブあってよかったのは、やっぱりサマーキャンプかな？キャンプでは、スイカ割りとかキャンプファイヤー、あと花火とか、みんなでチクサクコールとかしたからね。それと、クリスマス会とかもすごく楽しかった。やっぱりこまがた児童クラブにいてよかったなぁ～

支援員さん　勤続２０年目

１年生から６年生までの異年齢集団は、社会の縮図と言っても過言ではありません。児童クラブの子どもたちは毎日元気いっぱいです。
そんな中で、ぶつかり合ったり、助け合ったり、いろいろな感情を抱いたり様々な経験を積むことによって、大きく逞しく成長していきます。
私たち支援員は、そんな子どもたちの成長を見守っています。

こまがた児童クラブ職員紹介



指導員
・岩内裕彦
支援員（常勤）
・上武恵美子（主任）
・田部直人
・福田寿信
支援員補助（非常勤）
・土屋敦子（おやつ担当）
・齋藤真美
・矢萬恵里子
・金子弘之
・小暮育穂
・原山真紀子
・小林美和子
・長谷川佳代子
学生アルバイト
・２名
2026年　9月現在

※2015年度から国の子育て支援制度の法改正により、指導員という呼び名が支援員という呼び名に変わりました。
※正式は児童クラブですが、学童保育としての呼び名も活用されています。

